

ひたち野うしく小学校区タウンミーティング議事録

平成30年7月24日 19:00～19:45 庁舎4階第3・4会議室

- 1 市長挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 事業報告及び話し合い
 - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
 - ②風水害や土砂災害に備えて－自らの命、家族の命を守るために－
 - ③市民満足度調査結果
 - ④ブロック塀の安全点検

ひたち野中央行政区：風水害、土砂に対する備えに関して、市民に対しての守り方についての話は貴重だと思うが、今回は地区のタウンミーティングということで、地区に密着した安全対策の箇所、危険ゾーンの箇所、水害の起こる箇所、崖崩れの起こる箇所などを知らない方が多いと思う。道路冠水の恐れがある西大通、北大通、常磐線下には「道路上に冠水の恐れがあります」という表示があるが、こういうものは地域の皆さんにも分かるようなマップ等の作成をして、広く地域に知らしめてほしい。ひたち野うしく小学校の裏手、北側に中学校が建設されるが、のり面もあるので、崩壊しないとも限らない。東端穴行政区から要望がでていますが、ケーズデンキ南側は高低差が大きいので、のり面の崩れが発生していると思う。永く居住していればある程度予測するが、新しい住民が非常に多いので、そのような危険箇所を知らないと思うので周知をしてほしい。タウンミーティングとしての内容のあったもので説明もフォローアップしてほしい。

市民部長：ご意見を参考にさせていただいて、各地域の方に危険箇所等を広く知っていただくように、広報紙や回覧等を使用し周知を図っていききたい。

コモンステージ準行政区：ひたち野うしく小学校区のタウンミーティングなので、その実態に合った形でお話をいただくとありがたい。ひたち野うしく小学校区域の土砂災害警戒区域は、何カ所あるか。

市民部長：ひたち野うしく小学校区域については、0カ所である。

コモンステージ準行政区：全体を通して、この資料の開示は可能か。周りの自治会の中で周知、共有することは問題ないか。

市民部長：資料は公表しているものなので、開示可能である。

4 行政区の意見等話し合い

ひたち野中央行政区：公園敷地内の違法駐車について、ひたち野西3丁目20番地8の「電車が見える丘公園」の駐車場には、以前から違法駐車が多かった。市が設置した「駐車はご遠慮ください」との簡易な看板がここ1年ほどで設置されたものの、依然として駐車されている。違法駐車をされると、子どもたちが遊んでいるために危険度が高い。危険なので公園で遊べないなどの声もあるので、簡易的な看板ではなく、もっと分かるような看板を設置していただくとともに、公園内に車が入れないような対策をお願いしたところ、回答は侵入防止等のポール設置を進めているとのことであった。いつごろまでに設置してくれるのか？フォローアップが無い。具体的に、いつまでにできるのかを教えてください。住民に説明ができる。

建設部長：回答した時点では、準備が整い次第設置をするとしたが、材料の手配が完了したので、今週中に設置をしたいと考えている。できるだけ速やかに設置したいと思うのでお待ちいただきたい。

ひたち野中央行政区：侵入防止用ポールとは、どのようなポールなのか？間隔が1m50cm以内のものであれば進入禁止になると思うが、1m80cmなど間隔が空くようになると、軽自動車なども駐車しているので具体的にどのようなものが設置されるのか興味がある。せつかく設置するので効果のあるものをお願いしたい。

建設部長：紅白のポールを設置して、車両が侵入できないように考えている。設置間隔は2mを予定。2m間隔で必要なポールは準備をしている。軽自動車の侵入の対策を検討する。

ひたち野中央行政区：ある程度、間隔の狭いものでないと設置した意味がない。検討して設置していただきたい。

市長：公園は、緊急時に車両が入ることもある。最低限、車両が入れるスペースも確保しなければならない。中央郵便局前では縁石に車両が乗り上げないようにポールを設置したり、牛久運動公園入口のT字路には信号を設置できないので、道路にペイントを施したり、道路のセンターラインにポールを立てると、

減速しやすいので設置したりと、さまざまな策を講じている。信号が設置できない場所などに、車両等に支障のない範囲で設置を進めているのでご理解をいただきたい。

ひたち野中央行政区：今回のポールの設置を依頼したのは、車両が乗り入れられる場所が設置されているので問題がある。緊急時に、公園内に車両が入れないという状況ではない。それ以外の場所からも、ブロックの高さが低いので十分車両が乗り入れることは可能。地面は土と草なので、普段車両は乗り入れていない。ブロックで仕切られたところに駐車されている。

地区交流事業と行事が同時に実施されている。スポーツ交流事業と、学校事業が重なってしまった。スポーツ交流事業に参加予定だった方が、孫の運動会に参加するとのことで、なぜこのように行事が重なっているのかという話があった。日程は調整された中で実施されてきたはずだが、今後も同じようなことが起きるのではないかと、同日にならないよう調整していただきたい。

東獺穴行政区：田んぼの外周道路について、西大通り、ケーズデンキ裏と共同墓地の下の道路で、田んぼ側ののり面が、長年の雨により流され、ガードレールより下の支柱がむき出しになっている。車で角を通行すると危険。雨が降ると右側が崖になっているので常に流れる。現在崩れているので補修工事をお願いしたい。

建設部長：現地を確認した。補修について実施していくと回答したが、補修は完了している。

東獺穴行政区：土のうを積んでいただいたが、どのくらいもつか。流れ強い。

建設部長：定期的な巡回を実施する。土嚢の傷みや袋の破れ等があった際には、交換などをしていきたい。行政区から情報を提供頂ければと思う。

東獺穴行政区：右側が崖になっているので、ものすごい勢いで水が流れてくる。田んぼ側ののり面が流されてしまう。道路の下がえぐられたりすると、道路陥没の危険性もあるので策を講じてほしい。

建設部長：雨が降った際は現場を確認させていただく。地元からの情報もいただければ早めの対応ができる。

ひたち野西：ひたち野西 1-10、1-12、1-13、1-16 の十字路は交通量が多くなってきており、特に北大通は、牛久駅の方から来ると右折レーンがないので、手前の信号から住宅街の中に入って通行する人が多くなった。カーブミラーを設置していただきたい。この依頼をした後に、カーブミラー設置の調査を実施し報告してほしいと交通防災課から書類が届いた。こちらの書類に再度設置の依頼をしたいと思う。

国道 6 号線と西大通の交差点について、西大通方面から側道を通って国道 6 号線に出るところと、ひたち野うしく駅方面から国道 6 号線に出ていくところが、写真にもある様に、西大通から国道 6 号線に右折する車が、信号が変わるギリギリで侵入すると、正面の牛久方面に行く信号が「赤」になり、ひたち野うしく駅から出ていく方が「青」になるのだが、普通の交差点だと、右折したら右折した前の信号は「赤」。車がいなければ、そのまま「赤」で走行して良いと勘違いをして、「赤」になっても突っ込んでくる車がいる。国道 6 号線手前の交差点で信号待ちをしているときに撮影した写真。右側の手すりのある下側が西大通。手すりが 2 つある隙間の奥に見えるのが、西大通の上を通っている、国道 6 号線の橋の欄干。右側の手すりの 2 つと、国道 6 号線の欄干と隙間に入っているため、西大通から国道 6 号線に入ってくる車がほとんど見えない。2 枚目の写真。見通しが悪く国道 6 号線を通る車も気をつけないと、背の低い車が通っている場合、欄干と横の手すりの間からは見にくい。近隣住民は日常的に走行し、慣れているので注意をしているが、西大通から国道 6 号線へ右折する信号が「赤」になって、ひたち野うしく駅から国道 6 号線に向かう信号が「青」になる間隔が、1.8 秒程しかない。国道 6 号線にギリギリで侵入してきた車は、信号が「赤」でも目の前を突っ込んでいく状況。信号が「赤」になってから、こちらの信号が「青」になるまでの間隔をもう 2 秒程伸ばしてもらえないか。10m あるかないかなので、1～2 秒あれば、無理して侵入してきた車も通過できるので安全だと思う。前方の信号が「青」になり、西大通に侵入しようとした際に、飛び出してきた車に驚き停車したことがある。歩行者も同じ体験をされた人がある。警察の回答は、ひたち野うしくの西の方の駅前と、当該場所、東獺穴の入り口と、信号が 3・4 つあり、全体の地域をコントロールしているため、当該場所のみの調節はできないといただいているが、それが無理なら、国道 6 号線の信号をもう 2～3 秒「赤」に伸ばすのは全体で調整できるのではないかと。警察もこの場所を通らないと思うので、撮影した写真を提出するので、見ていただき実際に停止線に車を停めて、右側からくる車が良く見えて大丈夫であると確認していただければと思う。危険な目に遭った住民が多くいる。住民のアンケートの中に、「交通事故の発生を防ぐ施策や整備を推進してほしい」「安全で快適に利用できる道路環境を整備してほしい」

という意見もあるので、信号の間隔について、地域全体でコントロールしているので無理だということではなく、もう少し親身になって検討していただけるよう、警察に取り計らっていただきたい。

市民部長：警察に確認したところ、地域制御のため単独でコントロールするのは困難とのことであったが、撮影していただいた写真を確認し、再度警察へ現状を訴えてみたい。

ひたち野西：特に国道6号線から西大通に入る一時停止は取締りを実施しており、何度も警察に捕まっている車を見掛けるが、当該場所での信号無視の取締まりは、国道6号線のまん中ということもあり実施していない。初めて通行する方は、右折した正面の信号は普通「赤」なので、それでも通行していいという勘違いをしている。違反をしていくよりも、勘違いして通行してしまう。2つ信号が重なっており、信号と信号の間が5～6mしかない交差点だとすれば、正面の2つ目の信号が「赤」なので停止するが、上が1つの信号として右折したら「赤」でも通行していいという感覚で運転している方が見受けられる。車の事故というよりも、子育てをしている母親から、子どもが何度か危険な目に遭ったということで、交通事故は警察の管轄だろうが、子どもの事故を心配しているということが背景にある。

コモンステージ：コモンステージ北側、国道6号線から行くとローソンやセブンイレブンからケーズデンキに向かった通りにある街路樹の毛虫対策について、特に北側に面している住宅の方々から、時期になると毛虫が住宅の方に入ってきて、非常に困っているという話がある。5月末に発生を確認して、6月上旬に消毒を実施いただいたとのことで感謝申し上げます。できれば、発生してからではなく、予防することが可能であればしてほしい。水辺公園について、住宅に面している水辺公園の前、駅の国道6号線からコモンステージに向かった正面に水辺公園があるが、以前から駐車している車がある。今日もここへ来る前に通ってみた所1台駐車されていた。横断歩道で小学生が横断しようとしたときに、右は確認したが、左は確認せず渡っているのを目にした。駐車や子どもの通学路にもなっている横断歩道を見ていると、幸い大きな事故はないが、いつ事故が発生してもおかしくない状況である。駅側から来る車両の一時不停止なども目に付く場所なので、駐車対策も含め安全対策を積極的におこなってほしい。

市民部長：駐車違反については、これまでも警察に要望してきた。今後も引き続き駐車違反对策を依頼したいと思う。市の方でできる対策としては、赤いポー

ルを側道に面して立てていく方法もあるので、検討しながら行政区と対応を協議させていただきたい。

ひたち野中央行政区：警察は取締りをしているとは思いますが、道路が広すぎる。水辺公園から北大通までの信号の間は、センター部分をゼブラ線で仕切っているだけで車は停まって右側を走行するという形になっている。まずは車が停まれないような状況をつくらないと、いつまで経っても続く。右折ラインの延長上にゼブラ線で仕切られた道路はないはず。その対策をしていただければ、公園前の駐車は減少するのではないかと思う。

市民部長：ご意見を参考にしながら有効な手段を検討させていただき、駐車対策を進めていく。